

4月14日(火曜日)「逃亡の中で」

【新改訳 2017】

Ⅰ サムエル記20・1－21・10

「ダビデはラマのナヨテから逃げて、ヨナタンのもとに来て言った。…  
…」(20・1)

「こうしてダビデは野に隠れた。……」(同24節)

「ダビデはその日、すぐにサウルからのがれ、ガテの王アキシユのところへ行った。」(21・10)

数え上げるときりがないほど、繰り返しダビデがサウル王の追撃を避けて逃げ回ったことが記されています。この間の事情の詳細は、[本書の19章から27章](#)にありますので、ぜひ読んでください。

多くの教訓の中から、きょうは特に、ダビデが逃亡した事実に注目しています。①神に選ばれた有能な人でも、すぐ順風満帆の道を進むとは限らず、かえっていろいろな困難や試練に会うことがあります。②それはダビデの場合のように、避難を意味すると同時に、忍耐と謙遜と信仰の訓練の時でもあります。

内の敵、外の敵との戦いをしながら転々としたダビデは、羊飼いや、よろい持ち、将軍、王の婿、詩篇の作者、王への道を進んでいきたいのです。

～祈り～

主よ。あなたを信じる時、いつも安易な、豊かな、楽しいことがあると勝手に思いがちな者です。みことばに生きるために、ダビデの生涯からよく学ばせてください。

### 【学びのために】

一般的に考えると、神に認められ、用いられる偉大な人物が、このような逃亡生活をしなければならないことは理解に苦しみます。しかし現に、これはダビデの生涯の記録です。その意味するところを知ることは幸いです。